



6月8日(木)

きゅうしょくしつ

給食室からみなさんへ

今日の給食は、衣笠丼・ゆば入りすまし汁・水無月・牛乳です。

今日は京都の料理です！！

●位置・地形

京都ってどこにあるの？



日本の本州の中央付近、近畿地方に位置し、福井県、滋賀県、三重県、奈良県、兵庫県、大阪府の各府県と隣接しています。北部の丹後半島と舞鶴湾、若狭湾で日本海に面しています。北部に丹後山地、福知山盆地、中央部に丹波高地、亀岡盆地、南部に京都盆地があり、標高 1,000m 以下の低山地帯を形成しています。なんと府の面積の 75%以上が山地・丘陵地です。



●特産

京漬物、京野菜、京菓子
京焼、清水焼、西陣織、京扇子など



●観光



世界遺産がたくさんあり、観光都市として栄えています。海外からの観光客も多く、アメリカの旅行雑誌がおこなっている人気観光都市ランキングでも第一位を獲得しています。

金閣寺、銀閣寺、清水寺、竜安寺、平等院などみなさんも一度は聞いたことがある、行ったことがある場所が多いのではないのでしょうか。



●今日の給食



～衣笠丼～

衣笠とは京都の衣笠山にちなんだ京都の郷土料理です。衣笠山は、その昔第59代宇多天皇が、真夏に雪景色が見たいと衣笠山に白絹をかけたという故事から、別名「きぬかけ山」とも呼ばれています。

この「きぬかけ山」にちなんで、丼に盛った姿をそれに見立て、衣笠丼の名が付いたそうです。

～ゆば～



精進料理の材料の一つとして、日本のゆばは約 1200 年前に最澄が中国から仏教・茶・ゆばを持ち帰ったのが初めといわれています。

日本最初のゆばは、現在の京都府京都市と滋賀県大津市の間に位置する比叡山の天台宗総本山の延暦寺に伝わり、比叡山麓の坂本（現在の滋賀県大津市）に童歌「山の坊さん何食うて暮らす、ゆばの付け焼き、定心房」として唄われたことが歴史的な記録に残っています。

～水無月～



※本来は6月30日に食べる和菓子ですが・・・修学旅行に合わせて少し早めに※

6月30日は水無月を食べる日です。京都では1年のちょうど折り返しにあたるこの日に、この半年の罪や穢れを祓い、残り半年の無病息災を祈願する神事「夏越祓」が行われます。

この「夏越祓」に用いられるのが、6月の和菓子の代表ともいべき「水無月」です。水無月は白の外郎生地に小豆をのせ、三角形に包丁された菓子ですが、それぞれに意味がこめられています。

水無月の上部にある小豆は悪魔払いの意味があり、三角の形は暑気を払う氷を表しているといわれています。



本来の水無月
給食ではカップに入れて作りました。